



人権月間の取組

宮原小学校では、11月11日(月)から12月6日(金)を人権月間として各学年で取組を行いました。人権部落問題学習として、1年生「さるとかに」2年生「動物村の子どもたち」3年生「せんせいがう」4年生「集会所って何?」5年生「うちに生まれてよかったと思っています」6年生「手紙をくれたあなたたちへ」の授業を行いました。(F・氷川ブロック人権同和教育授業研究会で行った学級もありました。)

授業を通して、一人ひとりが認めあい、支えあい、つながりあうことのできる集団づくりをめざしています。また、人権部落問題学習で学んだことを人権月間の中で生かしながら、自分自身や身の回りの事象と結びつけた人権集会をめざし、低・中・高で取り組みました。

高学年(5・6年生)は、12月2日(月)に人権集会をおこないました。人権部落問題学習を学んでの作文発表をし、感想交流しました。その後、熊本県人権子ども集会の動画視聴をしました。



中学年(3・4年生)は、12月17日(火)6校時に人権集会を行いました。各学年からの人権部落問題学習を学んでの発表をし、感想交流を行いました。その後、友だちビンゴ、「こんな時どうする」の作文紹介をしました。

低学年(1・2年生)は、12月6日(金)4校時に人権集会を行いました。各学年からの人権部落問題学習を学んでの発表をし、感想交流を行いました。その後、岩本先生のお話・近藤先生のお話があり、最後にみんなで「せかいがひとつになるまで」の歌を歌いました。

低学年・中学年・高学年とも、作文の交流や感想の交流などを通して、思いを伝えることの大切さ受けとめることの大切さを感じ、なかまとしてつながっていかうと、そのために自分がどうしていくかを考える集会になりました。

